

令和8年9月15日
第124号

真鶴 自治会だより

皆、皆が住みよい町に

ますます激しくなる温暖化による気候変動、生活排水・農薬などによる水質汚染、環境問題については様々な課題が挙げられています。50年後、100年後、この地球はどうなっているのでしょうか。孫やひ孫の代まで、青く見える地球を残すために、私たち一人一人が地球のためにできることは小さいけれど、たくさんの方ができることをやれば大きな力になると信じています。ここで身近な真鶴町のごみの現状と課題についてお話しします。第一に、一人一日当たりのごみの発生量が多いことです。神奈川県平均の一人一日当たりごみ量753gに対して、真鶴町は1,115gと約1.5倍にもなります。第二に、リサイクル可能なもの（プラスチックごみ）が焼却処理されている量が多いことです。実は平成9年6月「容器包装リサイクル法」令和4年4月「プラスチック資源循環促進法」が施行されましたが、真鶴町ではCDなど、プラスチック製品、ビニール製品、卵パック、灯油用ポリタンクなど可燃物扱いです。ごみ量削減のキーワードは次の**3R活動**です。私たちもできることから始めましょう。最初にごみになるものを減らす「**リデュース (Reduce)**」です。マイバックの利用、簡易包装、生ごみ堆肥（自治会連合会「自治会だより」112号に詳細記載）…スマ

ホで検索できます）、詰め替えボトル使用などです。次に再使用（ものを大切に、繰り返し使う）「**リユース (Reuse)**」です。いらなくなったからといって、すぐ捨てるのではなくもう一度使えないか、別のことに使えないか。フリーマーケットやバザーを利用するのも一つです。最後に「ごみとして捨てるのではなく、「資源」として正しく分けて出す「**リサイクル (Recycle)**」です。新聞・雑誌、段ボール、紙パック、雑誌などはトレットペーパーなどに、プラスチック製容器包装（プラマーク）の付いているものは工業用プラスチックに、衣類（古布）の一部は反毛として車の内装材やクッションの中身にそれぞれ生まれ変わります。尚、プラスチック製容器包装（食品トレー・洗剤ボトル・調味料チューブなど）を分別するときには日常的に発生するものなので、汚れを除くなど皆さんの協力が欠かせません。大事なことは私たち一人一人の意識の問題ではないでしょうか!!

*「自治会だより」112号（令和5年9月）では特別委員会の報告として生ごみ堆肥のほか、ごみ出しのマナー、ごみ出しが困難な方のための対応、ごみ集積所にルールなどの看板を出すなどの提案を行っています。

POINT! ごみを減らす方法、あります!

昔の暮らしには、物を無駄にしない知恵がたくさんありました。今、その知恵が「ごみを減らす方法」として見直されています。生ごみを土に還す「キエーロ」、草木をたい肥にする「バイオネスト」。使わなくなった洋服・小物・食器などは、**リユースコーナー**で次の人へ。雨水を貯めて活用する「雨水タンク」もあります。こうした取り組みをコミュニティ真鶴で実践しています。ぜひ当施設でご覧いただき、ご家庭でもできることを一つ始めてみませんか。



【コミュニティ真鶴】（真鶴504-1）月水金土10時～17時 / Tel 68-0789

陶芸サークル

陶芸の「八芸会」です。土に触れ作品に仕上げていく工程の中で、自分の作りたいものに近づけていく事を楽しみ、また仲間との会話をしながら形を作っていきます。その後、素焼き、釉薬がけ、そしていよいよ本焼きへと進んでいきます。待ちに待った窯出しです。「焼き上がりはどうか」「自分が思っていたように焼き上がっているかな」……ドキドキ、ワクワクです。焼き上がった作品を前に「この器にどんな料理を盛り付けようか」また「花瓶にはどんな花を活けようかな」と作品を眺めながら楽しんでいきます。毎年、夏休みには



「子供陶芸教室」に協力しています。今年も60名余りの参加がありました。子供の頃陶芸教室に参加した方が親になり、今度はそのお子さんが教室に参加する事もあります。こうして、世界に一つだけの作品が毎年増え続けています。また、「大人の陶芸教室」も開催致します。子供の頃を思い起し、今度は大人の作品を作ってみませんか。興味のある方は是非お申し込み下さい。会員募集中です。活動は町民センターで週一回（火、水、金）の何れかの1日です。



令和7年度町民文化祭の様子（提供：社会教育係）

こんなサークル活動があります

第二弾

編集後記

◆酷暑日の定義
今年から、気温が40℃以上となる日を「酷暑日」と呼ぶようになりました。

猛暑日（35℃以上）でも体にこたえるのに、酷暑日という言葉には驚かされます。私が小学生だった頃は、夏休み中に30℃を超える日が数えるほどで、扇風機だけで十分涼しく過ごせた記憶があります。気候の変化を実感せざるを得ません。

◆熊本地震の発生
7月28日には熊本で再び大きな地震が発生しました。神奈川県もいつ地震に巻き込まれても不思議ではありません。日頃から備えを整えておくことが大切です。

◆防災訓練のご案内
9月26日に防災訓練を実施します。自治会に未加入の方でも参加できますので、地域の安全のためにもぜひご参加ください。いざという時に「顔見知りがいる」「動きが分かる」というだけで安心感が大きく違います。

（広報部 高瀬哲夫）



自治会連合会
ホームページ
自治会の活動内容を
紹介しています。
是非ご覧ください。



去年は台風の影響で中止となった「岩海岸夏まつり」・「豊漁豊作祭」ですが、今年は天候にも恵まれ予定通り開催する事が出来ました。先祖供養・商売繁盛・家内安全等の思いの願いが書かれた500基の灯籠が海上に静かに曳航され、海面にゆらめく灯りが幻想的な光景をつくりだしていました。僧侶による法要は厳粛に執り行われ、参列者はそれぞれの願いを胸に静かに手を合わせていました。クライマックスの海上花火では夜空に大輪の光が広がり、会場から歓声があがっていました。

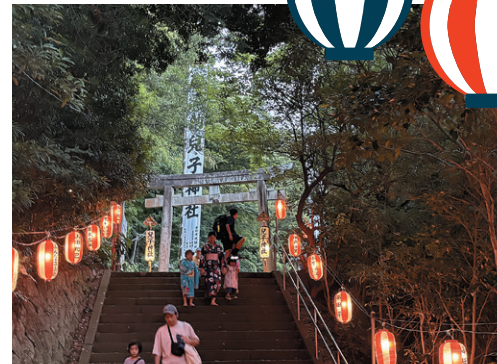


地域の絆

夏祭りプレイバック



真鶴町の重要伝統文化行事である「岩兒子まつり（兒子神社例大祭）」が、今年も地域の皆様のご協力のもと無事に挙行されました。当日は囃子・花山車・神輿が岩地区を練り歩き、クライマックスの神輿と花山車のぶつかり合いには多くの観客が魅了されました。宵宮では岩地区自治会と宵宮会（元子ども会役員）による夜店が開かれ、子どもから大人まで楽しめる賑やかなひとときとなりました。



総合防災訓練のお知らせ

9月26日（土）避難所運営訓練を実施します。大規模災害時に地域住民が中心となって、指定避難所を円滑に立ち上げるための実践的な訓練です。今回の訓練では行政の到着を待たず、参加した住民が主体となって避難所の安全確認や受付の設置、避難スペースの設置などを行います。

指定避難所	岩ふれあい館（旧岩小学校）、ひなづる幼稚園、まなづる小学校、真鶴中学校	
	時間	内容
避難所開設の主な流れ	8:30	想定地震発生
	9:00	避難訓練開始（サイレン、防災行政無線による町内放送） ○指定避難所へ集合 →施設安全確認（避難所施設の安全を確認する） →避難所の開設（キーボックスより鍵を取り出し開錠） →建物内に避難誘導 ○役割の決定→避難所運営委員会立ち上げ→班毎に訓練実施（中学生は各班に分かれ行動する） ※避難所ごとにシナリオを検討し訓練実施する 運営委員長 → 全般指導・安全管理 総務班 → 避難者の周知・誘導 受付の設置 施設班 → 物品の搬出 避難スペースの区割り 救護班 → 救護用品の搬出 救護・衛生活動 物資班 → 食糧等の物品の搬出 案内表示
	11:30	訓練一時中止（昼食準備）
	11:50	自衛隊による炊き出しカレーの配膳・試食
	12:30	訓練終了
	13:00	片付け終了

みなさんの参加をお願いします。災害はいつ起こるかわかりません。いざというときに地域で助け合い、落ち着いて行動できるよう、ぜひ訓練に参加しましょう。避難訓練には、隣近所お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

真鶴町の伝統行事で、日本三大船祭りの一つとして知られる「貴船まつり」が盛大に開催されました。貴船まつりは、国指定重要無形民俗文化財として受け継がれている祭礼で、豊漁と無病息災を祈願するものです。町内では、鹿島連・花山車・神輿連・本神輿が巡行し、威勢の良い掛け声とともに大変賑やかな雰囲気包まれ活気のある祭りとなりました。25日の本祭では18時頃からの雷と土砂降りの雨でクライマックスの海上渡御と神輿階段上りの行事は中止となりましたが、雨天の中でも奉納花火が打ち上げられ夜空を彩りました。

